

ペースメーカーリード植込み時の障害電流の程度がその後に与える影響の検討

1. 研究の対象

対象者：2017/12/1～2022/12/31 の間にペースメーカー新規植込みを受けられた病客さまを対象とさせていただきます。

2. 研究目的・方法

ペースメーカー植込み時の合併症として、心臓に植込まれる電気の線（リード）の脱落が2～7%発生するとされています。リードが確実に心臓の筋肉に当たっていれば、当たった心臓の筋肉から電流が発生します。その電流のことを障害電流と呼びますが、その大きさとリードの脱落やその他のペースメーカー測定項目（ペーシング閾値、波高値、抵抗値）にどのような関連があるかを調査した報告は多くありません。今回の研究は、障害電流がリードの脱落、ペーシング閾値、波高値および抵抗値と関連があるかを調査することです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、植込み疾患 等

試料：ペースメーカー合併症の有無、ペースメーカーチェックパラメータ（ペーシング閾値、波高値、抵抗値）

血液検査、心臓超音波検査 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

（当院のみ）単施設

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：臨床工学科 有道 真久

研究責任者：循環器内科 林田 晃寛

研究代表者：臨床工学科 有道 真久